

# ♥ 「いい夫婦の日」アンケート結果 2012

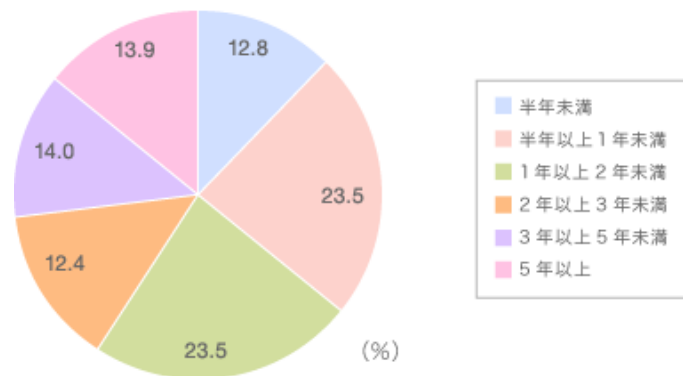
「いい夫婦の日」をすすめる会では、夫婦の今を知り、素敵な夫婦の明日を築く道標となることを願って、既婚者を対象にしたアンケートを2007年から実施しています。  
今の夫婦の「気持ち」「暮らし」「コミュニケーション」「将来」などをまとめています。  
ぜひ、ご覧ください。

※対象者：調査会社モニターより抽出した、18歳以上の既婚者（男女）(n=800)

- Q1. あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされてきましたか。  
Q2. あなたは、生まれ変わったとしたら、今のパートナーを選びますか。  
Q3. 今のパートナー（夫もしくは妻）を選んだ理由を教えてください。  
Q4. あなた方ご夫婦は今円満だと思いますか。  
Q5. あなたが夫婦円満のために、大切だと思うことは何ですか。最も優先順位の高いものを3つ教えてください。  
Q6. あなたがパートナーに直して欲しい・やめて欲しいことは何ですか。  
Q7. あなたが最も愛情を感じる言葉を、思いっただけ教えてください。  
Q8. 一日のご夫婦での会話時間は平均してどれくらいですか。  
Q9. あなたが思う理想の夫婦像に最も近いタイプを教えてください。  
Q10. あなた方ご夫婦ふたりだけでできることがある項目を、それぞれ「現在・未来」で、あてはまるもの全てを教えてください。  
Q11. あなたは11月22日が「いい夫婦の日」であることを知っていますか。  
Q12. いい夫婦の日(11月22日)に記念日として何かするとしたら、何をしたいですか。  
Q13. あなたがパートナーから記念日に欲しいプレゼントは何ですか。あてはまるものを全て教えてください。

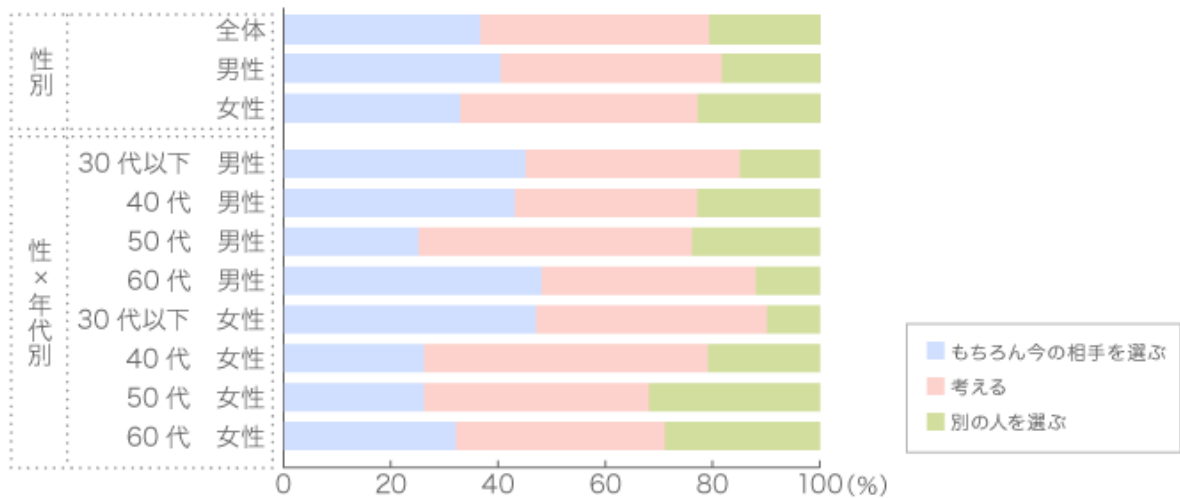
## Q1. あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされてきましたか。

全体では、「半年以上1年未満」・「1年以上2年未満」がそれぞれ24%で合わせると約過半数を占めています。一方「半年未満」・「3年以上5年未満」・「5年以上」がそれぞれ昨年より1ポイントずつ伸ばしています。  
層別で見ると、更に昨年と違った傾向が明確になっています。  
「考える」「別の人を選ぶ」層は「半年未満」・「半年以上1年未満」の割合が増加しており、特に「別の人を選ぶ」(43%(昨年38%))でその傾向が強くなっています。逆に、「もちろん今の相手を選ぶ」では、「半年未満」・「半年以上1年未満」の割合が減少しており、「1年以上2年未満」が10%弱増加。  
2年くらいの交際期間が、良好な結婚生活に必要な交際期間ということなのでしょうか！？



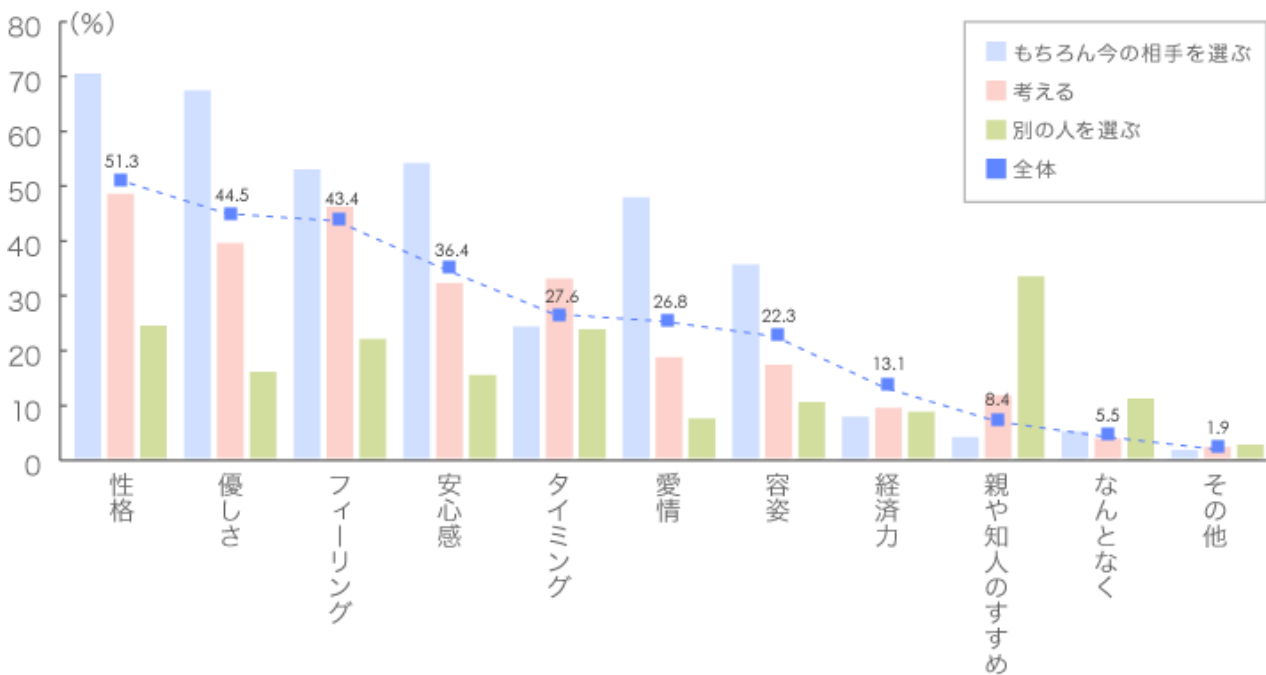
## Q2. 生まれ変わったとしたら、今のパートナー（夫もしくは妻）を選びますか。

全体では、「考える」が43%で最も高く、次いで「もちろん今の相手を選ぶ」(37%)、「別の人を選ぶ」(21%)。  
前年と比べると、「別の人を選ぶ」が約3ポイント上がっています。  
性別で見ると「もちろん今の相手を選ぶ」では、男性40%に対し女性が33%で、男性の方が13ポイント高い。  
性×年代別でみた「もちろん今の相手を選ぶ」では、男性:60代が48%で最も高い。次いで、女性:30代以下が47%、男性:30代以下が45%となっている。  
「別の人を選ぶ」では、女性:50代が32%で最も高く、女性:30代以下が10%で最も低くなっており、その差は22ポイントとなっている。  
※前年まで、ほぼ変化の少ない結果でしたが、今年度はやや良くない変化がみられました。



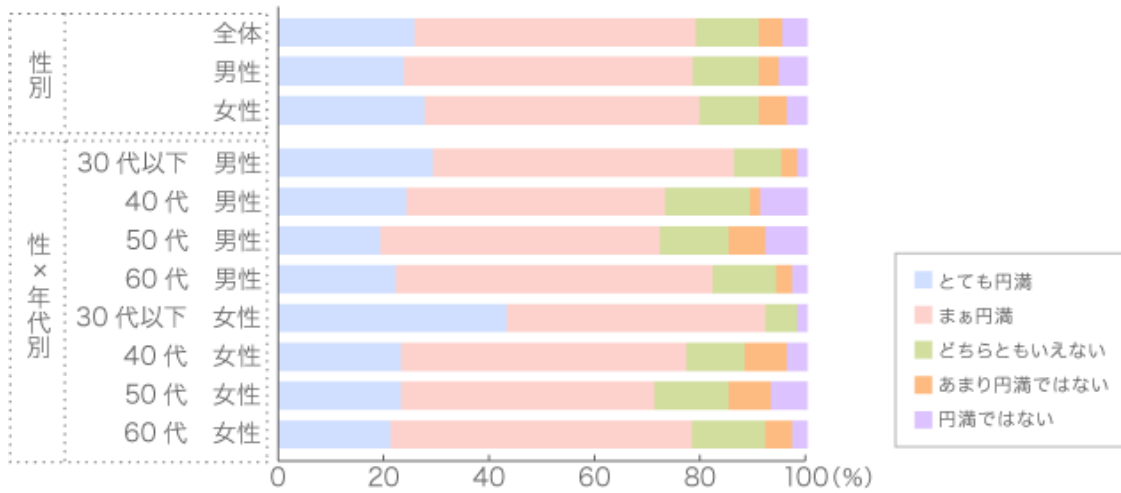
### Q3. 今のパートナー（夫もしくは妻）を選んだ理由を教えてください。

上位4項目では、【もちろん今の相手を選ぶ】層が最も高く、「性格」・「優しさ(思いやり)」・「安心感」では他層を20ポイント以上上回っている。「タイミング」では、「考える」層が33%で最も高くなっています。「なんとなく」では、【別の人を選ぶ】層が33%で最も高くなっています。「親や知人のすすめ」でも、【別の人を選ぶ】層が11%で最も高い結果となっています。※【もちろん今の相手を選ぶ】層では、「性格」や「優しさ(思いやり)」他、相手の色々な魅力に惹かれパートナーとして選んだことが推測されます。「考える」層では、「タイミング」など年齢的なものを意識したこともやや推測されます。一方、【別の人を選ぶ】層では、「なんとなく」や「親や知人のすすめ」といった相手の魅力というよりは情性やその他の要因でパートナーを選んだことが窺えます。



### Q4. あなた方ご夫婦は今円満だと思いますか。

全体では、「とても円満」が26%、「まあ円満」(53%)まで含めた「円満計」が79%で、昨年の83%と比べて4ポイント下げています。一方、「円満ではない計」は9%で、前年5%から4ポイント増加していて、状況はやや悪化傾向が見られます。性×年代別でみると、「とても円満」では、女性30代以下がダントツで高く43%。次いで、男性30代以下が29%、男性40代が24%が続いています。高年齢男性層がやや低迷している傾向がみれます。「円満計」では、女性30代以下が92%で最も高く前年94%とほぼ同じ、次いで、男性30代以下が86%、男性・60代が82%となっており、男性層が上位なもの例年と同じです。「円満ではない計」は、男女50代層が最も高く、15%で、前年8%を7ポイント上回っています。

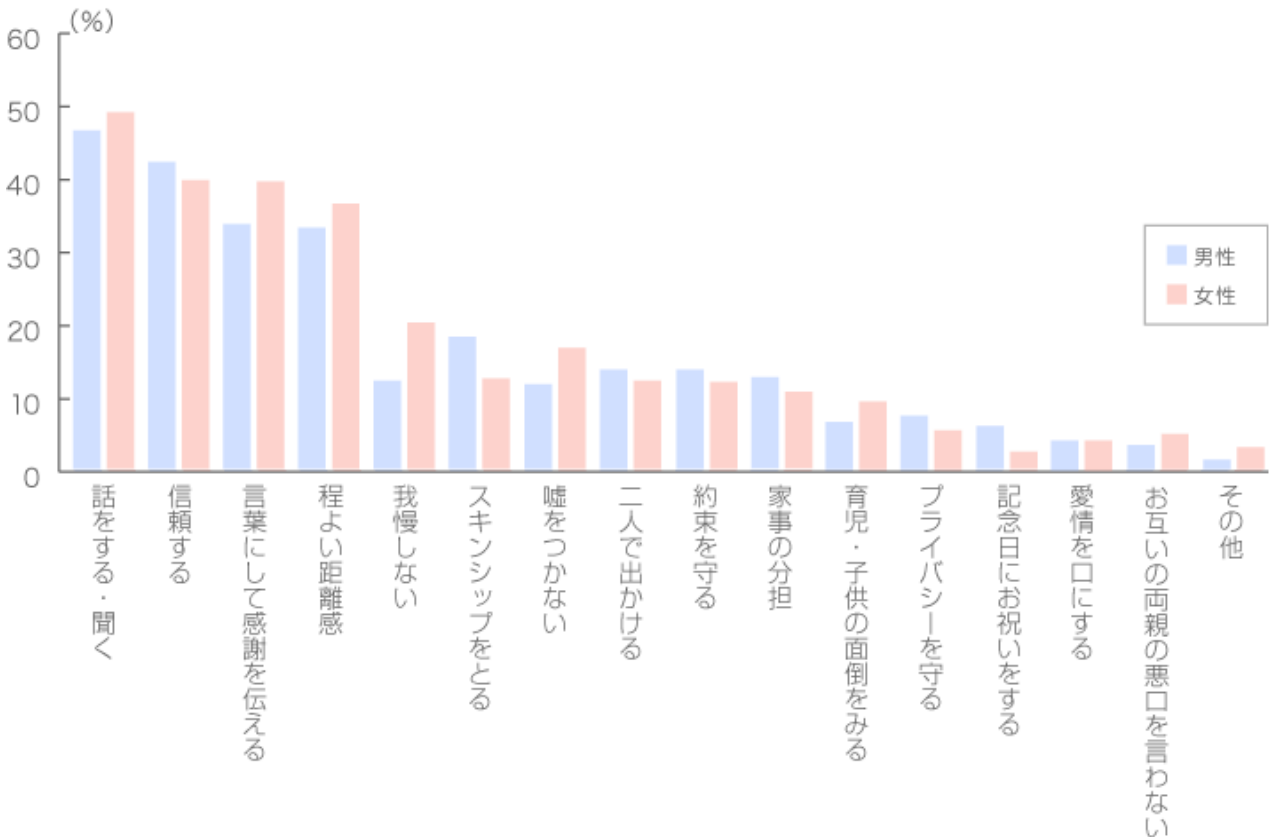


**Q5. あなたが夫婦円満のために、大切だと思うことは何ですか。最も優先順位の高いものを3つ教えてください。**

全体では、「話をする・聞く」が48%で最も高く、次いで、「信頼する」(41%)、「言葉にして感謝を伝える」(36%)、「程よい距離感」(35%)が3割以上で続いています。やや全体のポイントはさがったものの、ほぼ前年と同様の結果となっています。順位としては、下位の若干の順位の入替はあったものの、大きな変化は見られません。

性×年代別でみると、「話をする・聞く」では、女性30代以下・女性40代が51%で他層より高く、次いで、女性60代が49%、男性:40代・男性50代が47%でとなっています。「信頼する」では、男性:60代が55%で最も高く、他層を10ポイント以上上回っています。次いで、女性:40代が43%、女性:50代が42%という結果です。「言葉にして感謝を伝える」では、女性30代以下が50%で最も高く、男性60代が23%で最も低くなっており、その差は27ポイントとなっています。

\* 前年同様、女性のポイントが全体的に高く、家庭生活における女性の役割の負担などが大きいことが予測され、「労り」や「理解」「協力」を望む気持ちが大きいことが分かる結果と言えます。

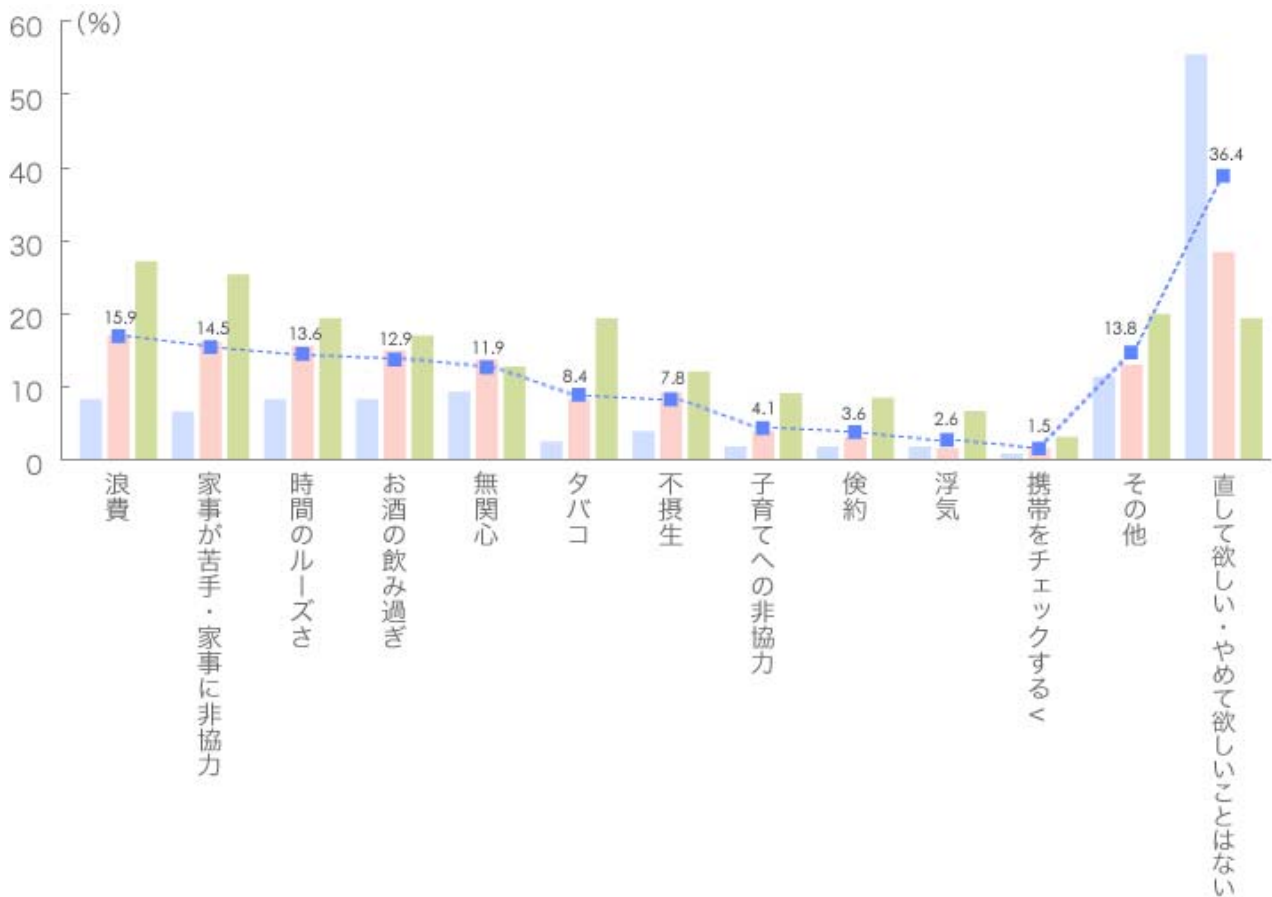


**Q6. あなたがパートナーに直して欲しい・やめて欲しいことは何ですか。**

全体では、「直して欲しい・やめて欲しいことはない」が36%で最も高く、前年の32%を4ポイント伸ばす結果となっています。具体的な直して欲しい・やめて欲しいことは、「浪費」(16%)、「家事が苦手・家事に非協力」(15%)、「時間のルーズさ」(14%)・「お酒の飲みすぎ」(13%)・「タバコ」(12%)が1割以上で続く結果となっています。

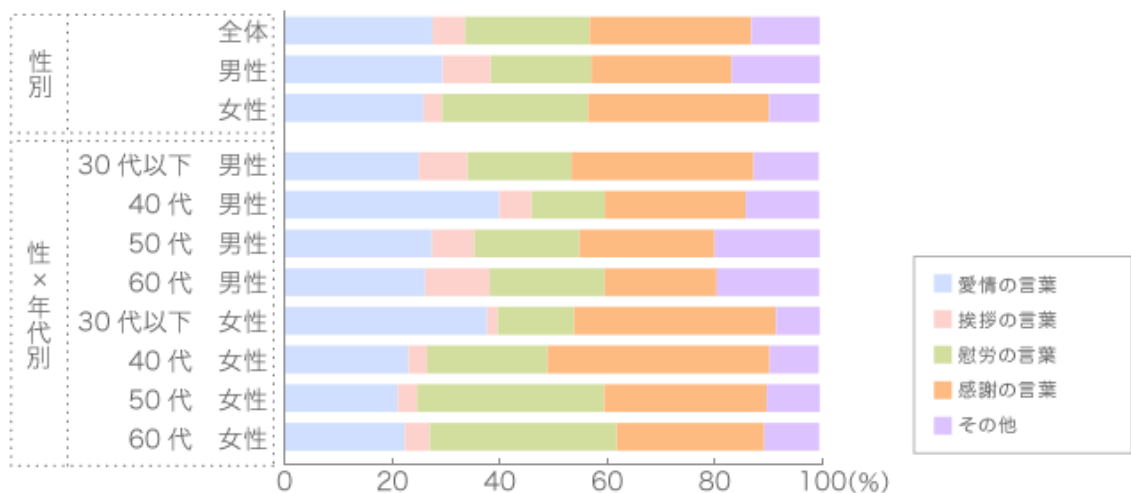
層別でみると、【もちろん今の相手を選ぶ】層では「直して欲しい・やめて欲しいことはない」が56%で過半数以上で、前年52%から4ポイント増。一方、【別の人を選ぶ】層は他層よりスコアが高い項目が多く見られ、「浪費」・「家事が苦手・家事に非協力」・「時間のルーズさ」・「無関心」は、【もちろん今の相手を選ぶ】層と10ポイント以上差があり、中でも「浪費」・「家事が苦手・家事に非協力」は19ポイントの差となっています。

※【もちろん今の相手を選ぶ】層では、5割以上が今のままでよいと感じている。一方、【別の人を選ぶ】層で前年にまして、より明確で様々な不満を抱えていることが窺える結果となりました。



**Q7. あなたが最も愛情を感じる言葉を、思いっただけ教えてください。**

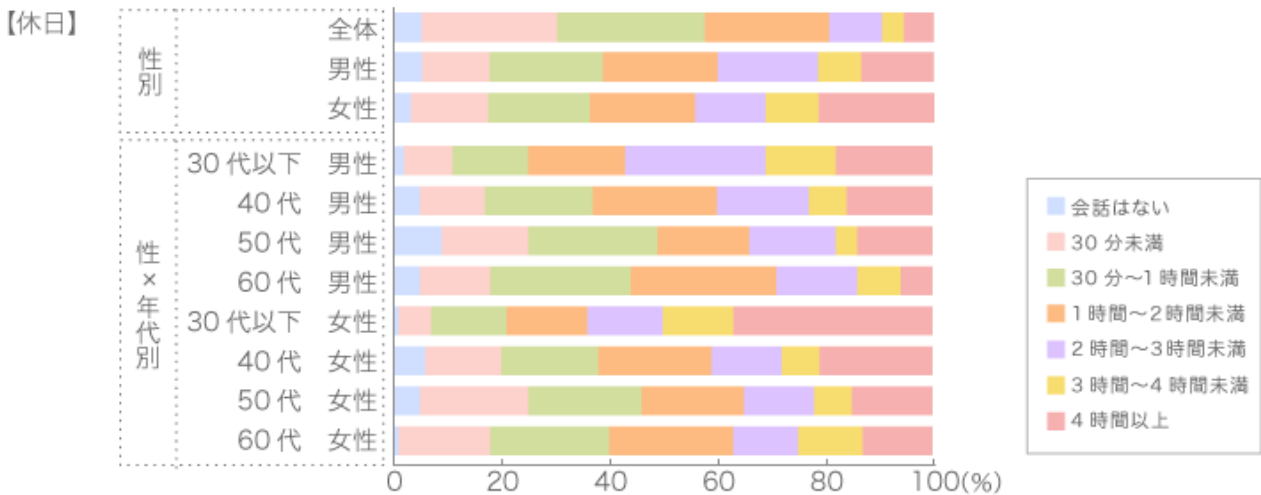
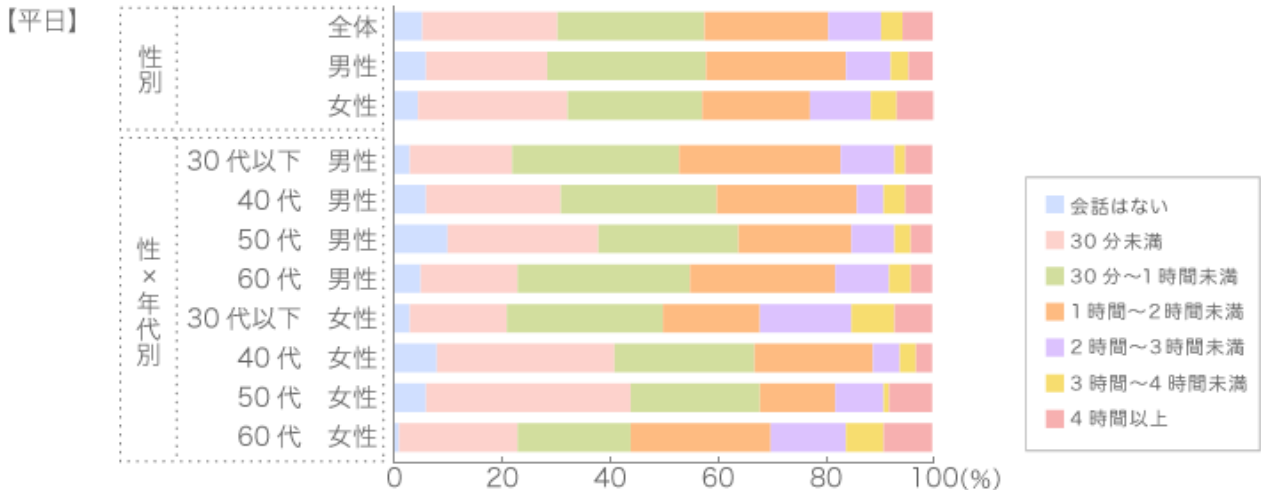
全体では、「感謝の言葉」が30%で最も高く、次いで、「愛情の言葉」(28%)、「慰労の言葉」(23%)、「挨拶の言葉」(6%)が続きます。性別で見ると、「感謝の言葉」では、男性26%に対し女性が34%で、女性の方が8ポイント高く、「愛情の言葉」では、男性30%に対し女性が26%で、男性の方が4ポイント上回っています。「慰労の言葉」では、男性19%に対し女性が27%で、女性の方が8ポイント高い結果となっています。性×年代別で見ると、「感謝の言葉」では、女性層の方がやや高く、女性40代が42%で最高、60代が27.6%で最低。男性層では30代以下が34%で最高、女性層同様60代層で21%と最低ポイント。「愛情の言葉」では、前年と入れ替わり男性40代が40%で最も高く、前年1位の女性30代以下が38%、男性50代が28%と続いている。前年より、女性層が低めの結果となっており、女性50代は21%に留まっているのが特徴的。「慰労の言葉」では、女性50代・女性60代が35%で他層より高く次いで、女性40代が23%、男性60代が22%となっている。※今年は比較的男性層がストレートな「愛情の言葉」にヒットして増加傾向にあり、逆に女性層は30代以下と60代ではやや増加しているものの、やはり女性層は「慰労」「感謝」の割合が高まっていて、日常生活における負担度などが推測されます。



**Q8. 一日のあなた方ご夫婦での会話時間はどれくらいですか。**

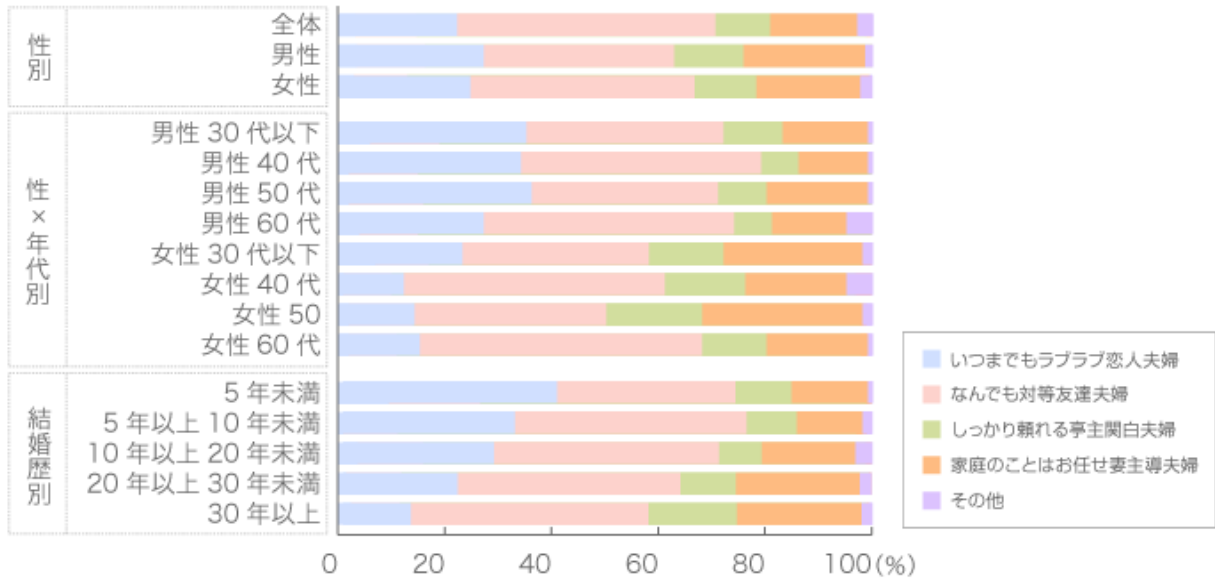
全体では、「30分～1時間未満」が27%で最も高い。次いで、「30分未満」が25%。平日の夫婦の会話は1時間未満が6割強。性×年代別で見ると、「30分～1時間未満」では、男性60代が32%で最も高く、次いで、男性30代以下が31%、男性40代が29%で続く。「30分未満」では、女性50代が38%で最も高く、次いで女性40代が33%で、ともに「1時間未満」が約7割という結果となっています(やや前年より悪化)。全体では、「1時間～2時間未満」「30分～1時間未満」の順に約20%で他時間より高く、次いで「4時間」(18%)、「2時間～3時間未満」(16%)が続く。

性×年代別で見ると、「4時間以上」では男女ともに30代以下高く、特に女性30代は37%に達しています。一方、男女ともに50代以上では1時間未満が約5割近くを占めており、男性50代は49%で最も高い結果となりました。が、前年31%と比較すると18ポイントも短縮されています。  
 ※日常生活の忙しさからなのか、特に40～50代の中年層において、非常に会話時間が短くなっており、コミュニケーション不足が懸念されます。



Q9. あなたが思う「理想の夫婦」に近いと思うものをお選びください。

全体では、「なんでも対等友達夫婦」が42%で最も高く、次いで、「いつまでもラブラブ恋人夫婦」が25%、「家庭のことはお任せ妻主導夫婦」が20%、「しっかり頼れる亭主関白夫婦」が12%となっています。  
 性×年代別で見ると、「なんでも対等友達夫婦」では、女性:60代が53%で最も高い。次いで、女性:50代が49%、女性:40代が47%、女性:30代以下が45%となっている。「いつまでもラブラブ恋人夫婦」では、以外にも男性40代が36%で最も高く、次いで、男性30代以下が35%、女性30代以下が34%となっています。  
 結婚歴別でみた「なんでも対等友達夫婦」では、30年以上が45%で最も高い。次いで、5年以上10年未満が44%、10年以上20年未満が43%となっています。「いつまでもラブラブ恋人夫婦」では、5年未満が40%で最も高く、結婚歴が長くなるほどスコアダウンという結果になりました。  
 ※男女とも年齢・結婚歴が上がるほど「ラブラブ度」は求めなくなり、女性層は年齢が上がるほど「対等度」が上昇することから、家庭での女性のポジションの変化が推測されます。また、男性40代までの層は、ラブラブ度も求めるのに対して、高年齢層ではラブラブ度が急減する、その一方で、それぞれの役割をきっちり分け、妻に任せたい傾向が明確になる傾向が見られます。女性の方が、早目に現実的な落ち着きを持ち、男性はやや遅れて落ち着く傾向にあることが伺えます。



**Q10. あなた方ご夫婦ふたりだけでできることがある項目を、それぞれ「現在・未来」で、あてはまるもの全てを教えてください。**

**男性**

現在は、「買い物」(65%)、「外食」(61%)が6割台で他項目より高く、次いで、「国内旅行」(57%)、「ドライブ」(41%)、「料理以外の家事」(36%)、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(31%)が3割以上で続く結果となっています。

前年とほぼ同様の順位で大きな変化はありません。ただ、全体にポイント数は減少しています。

未来では「国内旅行」(60%)で、唯一6割台に近く選ばれています。

次いで、「買い物」(54%)、「外食」(52%)がポイントが高く、次に「海外旅行」(38%)「ドライブ」(36%)と続きます。

※現在と比べ、未来の希望として、「海外旅行」が13ポイント上昇しており、海外旅行はリアルで現実的な余暇活動であることが伺われます。

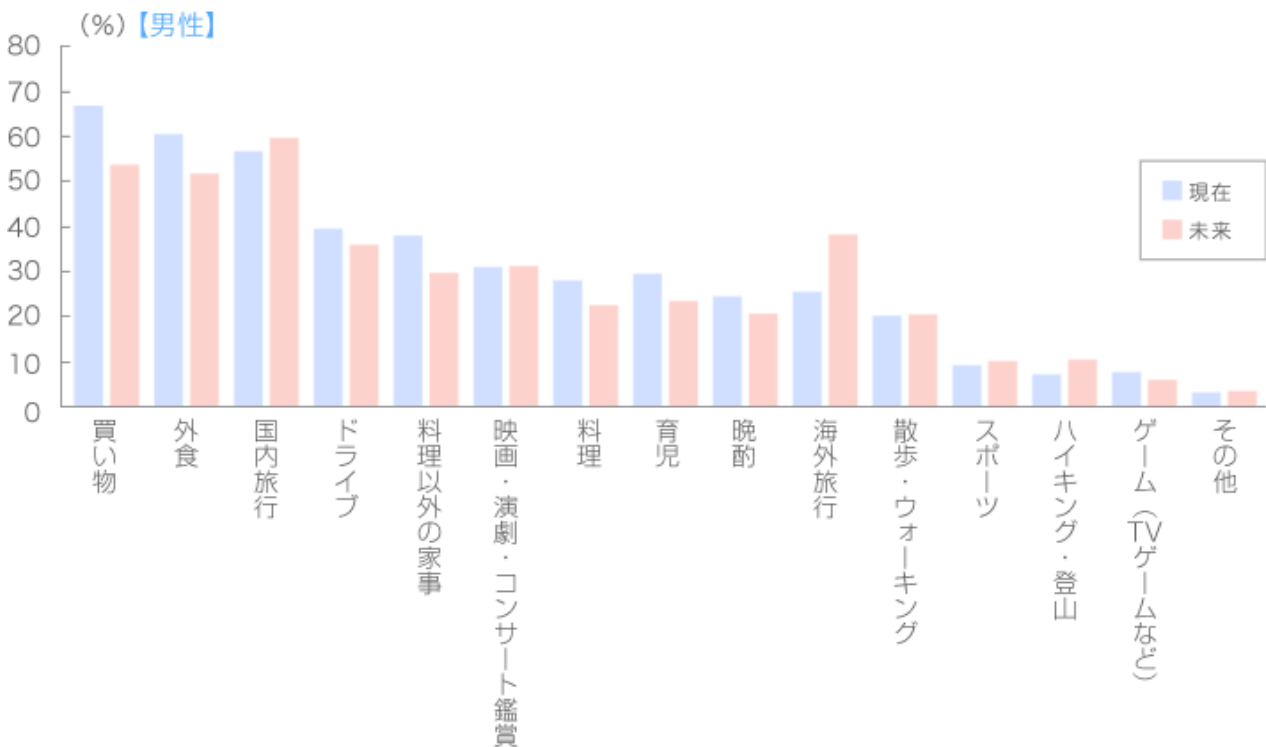
**女性**

現在は「買い物」「外食」(63%)で最も高く6割台、次いで「国内旅行」(57%)と続く。

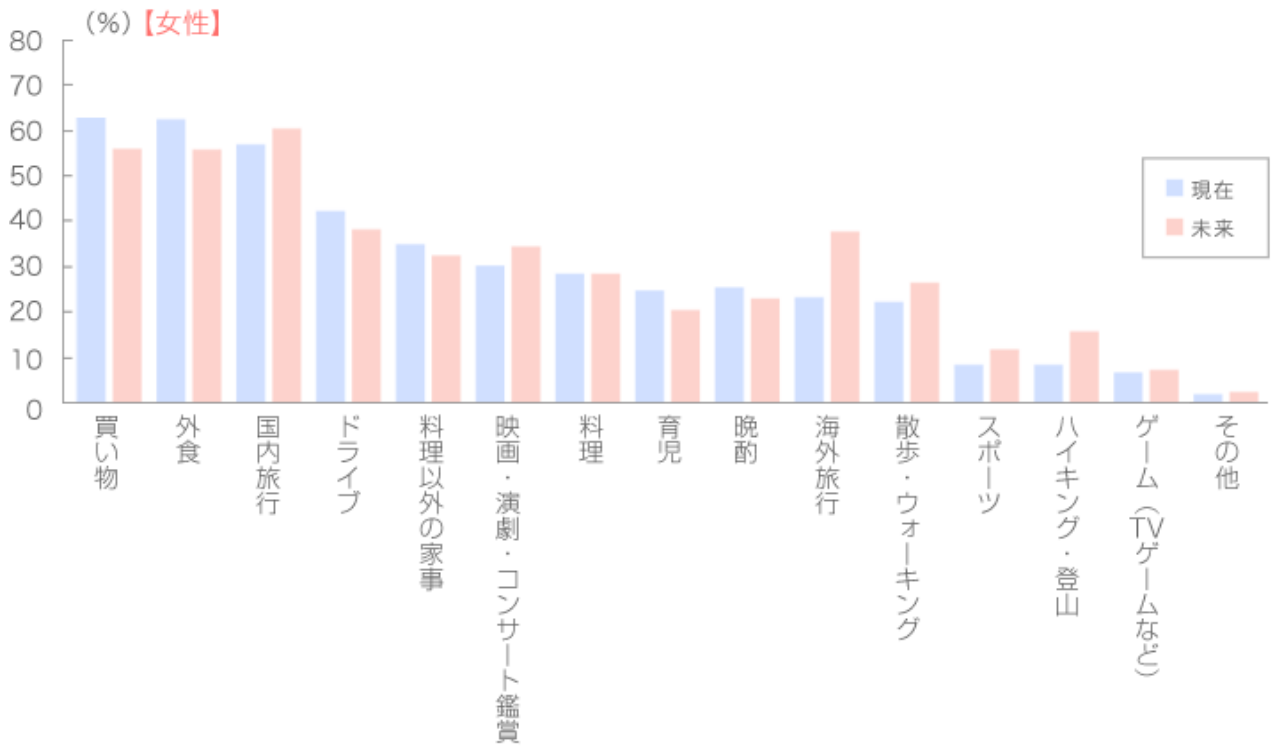
「ドライブ」(42%)、「料理以外の家事」(35%)、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(30%)が3割以上で続いています。

未来では、「国内旅行」(60%)が最高で6割台にのっており、次いで「買い物」「外食」(56%)と続く。次いで、「ドライブ」(39%)、「海外旅行」(38%)と続くのも、ポイント数的にも、ほぼ男性と同様の傾向。

※全体に、「国内及び海外旅行」が一緒に行うことのトップで、男性女性ともに共通の項目であることが把握できます。

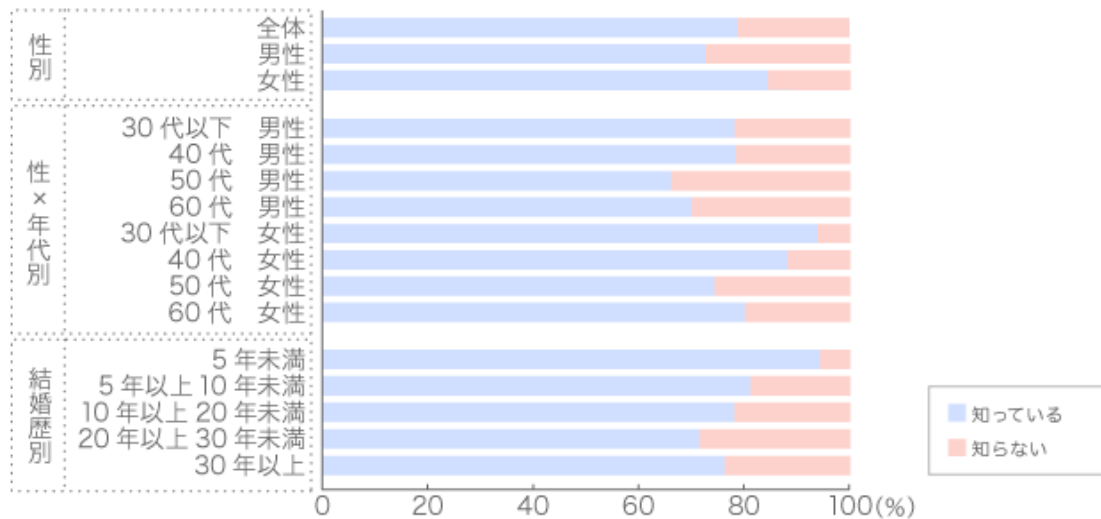






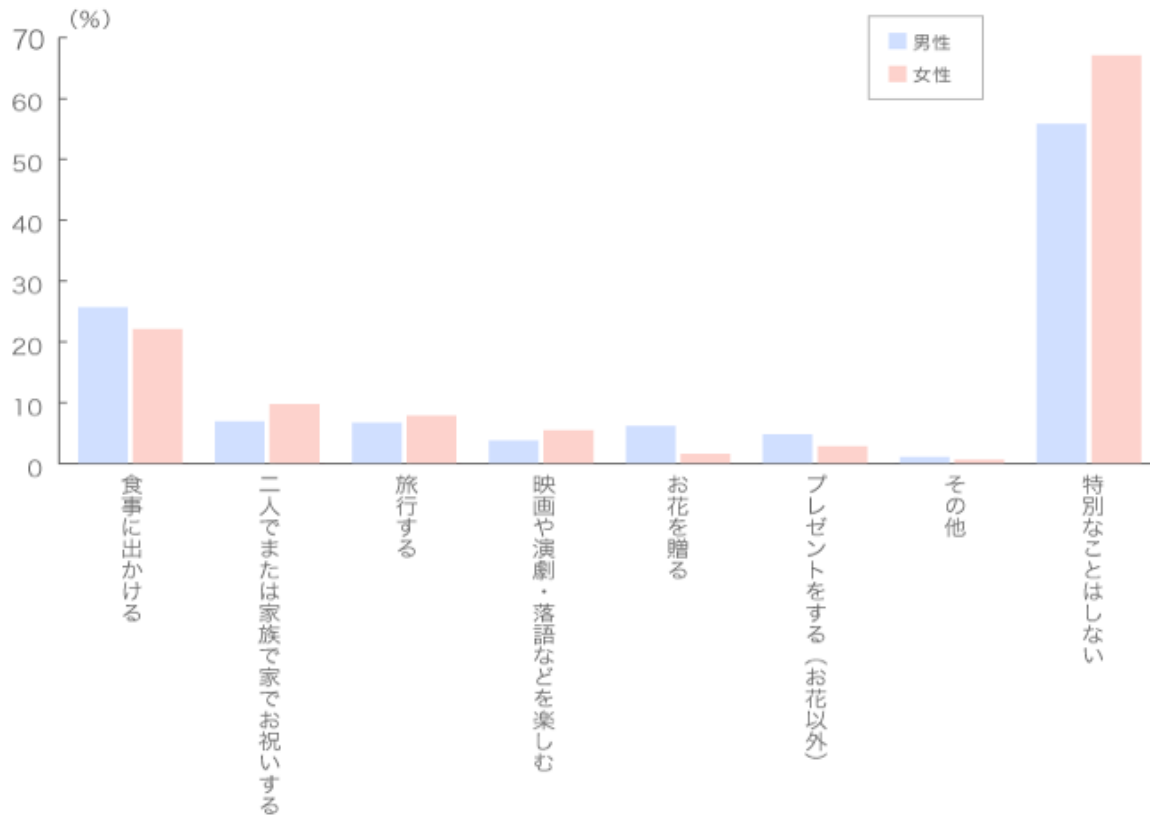
Q11. あなたは11月22日が「いい夫婦の日」であることを知っていますか。

全体では、「知っている」が79%を占めており、高い認知を得ていると言えます。性別でみた「知っている」では、男性73%に対し女性が84%で、女性の方が11ポイント上回っている結果となっています。  
 性×年代別でみた「知っている」では、女性30代以下が94%で最も高く、次いで女性40代が88%、女性60代が80%で続き、残体に高い認知を得ています。一方、男性では、50代は66%に留まっており、やはり男性の方がやや低めという状況が把握できます。  
 結婚歴別でみた「知っている」では、5年未満が94%で最も高く、20年以上30年未満が71%で最も低くなっており、その差は23ポイントもあります。  
 ※【女性層】・【結婚歴の短い新婚層】での認知は高く、今後は【中高年層】及び【熟年夫婦層】の認知向上も課題の一つと言えます。



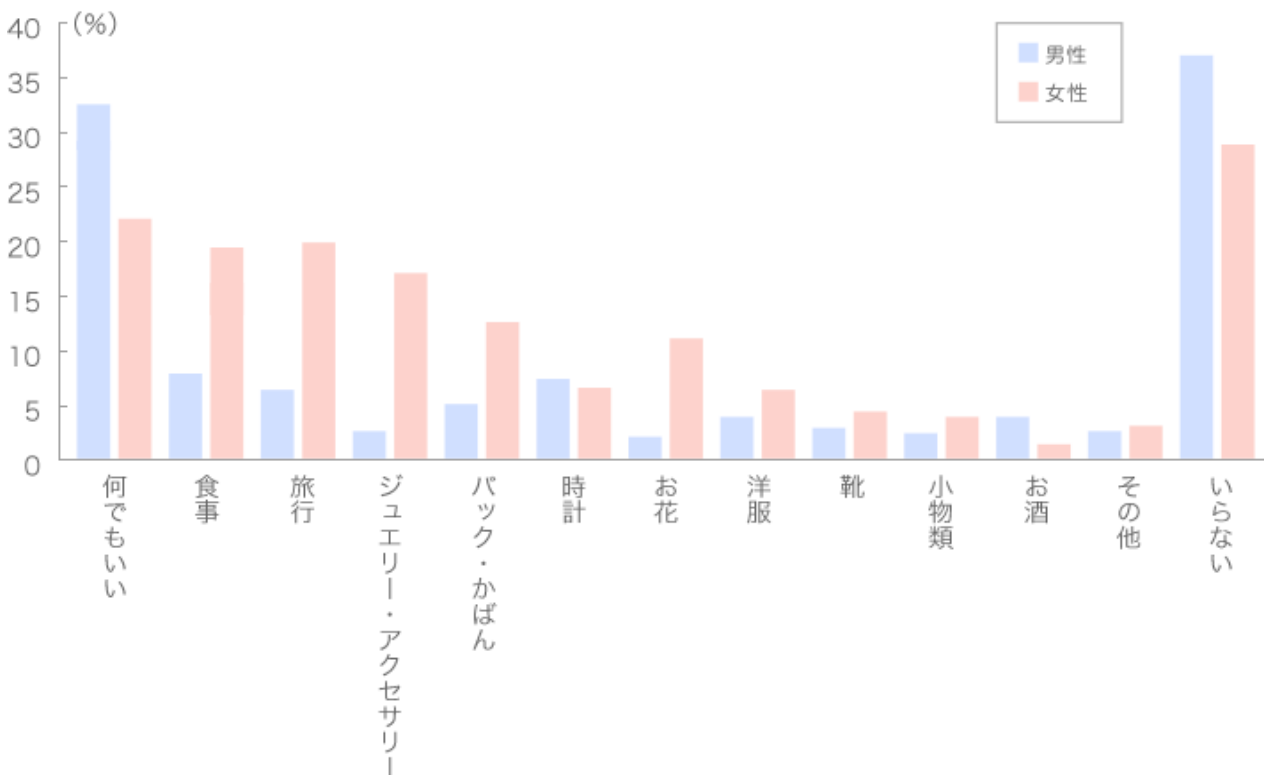
Q12. いい夫婦の日 (11月22日) に記念日として何かするとしたら、何をしたいですか。

全体では、「食事に出かける」が25%で最も高い。  
 次いで、「二人で又は家族で家でお祝いする(いつもより豪華な食事など)」(9%)、「旅行をする」(7%)がトップ3。「特別なことはしない」が62%存在しています。  
 性別で見ると、「食事に出かける」では、男性27%に対し女性が23%で、男性の方が4ポイント上回っています。性×年代別で見ると、「食事に出かける」では、男性60代が35%で最も高く、次いで、女性30代以下が27%、男性:30代以下が26%、女性:60代が24%で続く。  
 「特別なことはしない」では、女性:40代が73%で全体より10ポイント以上高い結果となっています。  
 ※ 全体に、女性層が非常にクールで冷静な意見が多い傾向にあります。長引く不況や社会情勢などの不安材料の影響なのか、自粛的な状況が見られました。



**Q13. あなたがパートナーから記念日に欲しいプレゼントは何ですか。あてはまるものを全て教えてください。**

全体では、「何でもいい」が28%で最も高く、次いで、「食事」(15%)、「旅行」(13%)、「ジュエリー・アクセサリ」(10%)、「バック・かばん」(9%)が続いています。「いない」も33%存在します。  
 性別で見ると、「何でもいい」では男性33%に対し女性が22%で、男性の方が11ポイント高く、男性の方がパートナーからのプレゼントにこだわりを持っていないことが窺えます。  
 「食事」では、男性8%に対し女性が22%で、女性の方が14ポイント上回っています。「いない」では、男性37%に対し女性が29%で、男性の方が8ポイント高くなっています。  
 性×年代別では、女性30代以下の「食事」(27%)・「旅行」(26%)・「ジュエリー・アクセサリ」(27%)・「バック・かばん」(23%)が2割以上と、他層より高くなっています。  
 「いない」では、男性60代が43%で全体より10ポイント以上高い結果となっています。





※アンケート結果の使用に関しては、事前に事務局へ承諾を得てください。  
※アンケート結果を使用する場合は、必ず出典名として“「いい夫婦の日」をすすめる会事務局”を入れてください。